

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103439	設置等組織名	建築デザイン学部（建築デザイン学科）
大学名	日本女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	東京都	事業計画名	建築デザイン学部新設による、技術力を有する高度女性人材の育成

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ1				
フェーズ2 前編し			○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和5年4月 建築デザイン学部建築デザイン学科 学部の設置届出予定	令和5年4月26日 建築デザイン学部建築デザイン学科 学部の設置届出		
フェーズ1 後編し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2			○年度自己評価	リストから選択してください。
開設又は定員増	令和6年4月 建築デザイン学部建築デザイン学科開設予定（入学定員100人、工学関係・家政関係）	令和6年4月 建築デザイン学部建築デザイン学科開設（入学定員100人、工学関係・家政関係）		
フェーズ2 後編し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3	令和5年4月 建築デザイン学部設置届出 令和6年4月 建築デザイン学部開設 令和6年（設置1年目）4月～ 学部棟新設検討と並行した教育研究戦略を踏まえた設備等検討 6月～ 初年度入試結果を踏まえた広報戦略の検討及び広報活動の実施【戦略深化】 学部入学生の年次進行に対応し、教育環境を順次整備（随時） 令和7年（設置2年目）4月～ カレッジ・入試・広報戦略等年次振り返り改善実施【戦略深化】 学部教育内容に関する職員団体等との意見交換会等の検討・実施（随時） 令和8年（設置3年目）4月～ カレッジ・入試・広報戦略等中間振り返り【戦略深化】 必要に応じて、調査・アンケート等を実施 令和9年（設置4年目）9月～ 学生アンケート等を踏まえたカレッジ・入試の検討【戦略深化】 入試・広報戦略見直し及び改善	令和5年4月 建築デザイン学部設置届出 令和6年4月 建築デザイン学部開設 令和6年（設置1年目）4月～ 学部棟新設検討と並行した教育研究戦略を踏まえた設備等検討 6月～ 初年度入試結果を踏まえた広報戦略の検討及び広報活動の実施【戦略深化】 学部入学生の年次進行に対応し、教育環境を順次整備（随時）	R5年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
			R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
			R7年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	令和5年4月 家政学部住居学科学生募集停止の報告予定（入学定員92人、工学関係・家政関係） 令和5年4月 文学部日本文学科8人減員に係る届出予定（入学定員126人、文学関係）	令和5年4月 家政学部住居学科学生募集停止の報告（入学定員92人、工学関係・家政関係） 令和5年4月 文学部日本文学科8人減員に係る届出（入学定員126人、文学関係）		

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	日本女子大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とそに対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>確認の対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	確認の対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
確認の対象に該当しない	☐ チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育がキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の特組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	日本女子大学
-------------	-------	-----	--------

⑫

計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

計画通りに進んでいる☒ チェック

⑬

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した☒ チェック

⑭

文科科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない☒ チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できたり、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェック a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☐ チェック b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☒ チェック c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業等と連携した特長的なPBL科目として、専門科目3年次配当「建築と社会」がある。①NPO等（卒業生のライフ環境教育NPO、施設設計の専門家が連携）とエシオピアの女性の就業支援課題解決、②自治体等（神橋市役所、住民、設計・施工者、研究者が連携）と茨城県神橋市のかみず防災アリーナの課題解決等の取組を、基礎となる家政学部住居学科学科において既に実施しており、新学部でもPBL実習を実施し、内容のさらなる深化を図る。なお、本科目は社会連携・地域貢献の側面も持ち合わせており、学生、連携先双方でwin-winの取組である。海外大学とは、台湾・逢甲大学建築専業学院との交換留学プログラム「Open Loop Program」や台湾・淡江大学等との「国際ハウジングワークショップ」（「建築総合演習」として単位認定）等、連携プログラムの実績があり、新学部も継続・発展させて国際交流の取組を進める。	計画どおり学科専門科目3年次配当科目として発展科目群に「建築と社会」を配置し、届出を完了している。	-

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☒ チェック a.入学者選抜における科目の見直し
- ☒ チェック b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☐ チェック c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☐ チェック d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（カレント・リスキングへの対応）
- ☒ チェック e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
・①で記載したジェンダー学生(女性)の受け入れは、女子大学として、多様な入学者受け入れの特徴的な取り組みであると考えている。 ・入学者選抜においては、基礎となる学部学科から新学部に移組するにあたり、2025（令和7）年度入試から大学入学共通テスト（5科目型）を新規導入することとし、志願者の選択の幅を広げた。 ・女子大学に対する逆風の風潮がある中、本学は継続的な改革を推進しており、学部改組を積極的に進めている。令和5年度は国際文化学部、令和6年度は本学部（建築デザイン学部）を設置し、続く令和7年度には食料学部（仮称）の設置を構想しており、その後も継続的に学部改組を機とした教育改革を進め、優秀かつ多様な女子学生の獲得・輩出を進める。 ・海外協定校開拓を推進しており、交換留学生をはじめ、留学生の受入強化をさらに進める(令和6年度新規:タイ・シリパコーン大学)。	・ジェンダー学生（女性）の受け入れについて、募集要項及び大学Webサイト等で明示・公表し、積極的な取組を進めている。 ・2024（令和6）年3月28日に、大学Webサイトで「2025（令和7）年度一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期5科目型））出題教科・科目・範囲・配点」を公開した。 ・2024（令和6）年4月25日に、令和7年度設置予定の食料学部の設置届出を完了した。学内において継続した学部・学科再編をはじめとした教学改革を進めている。 ・令和5年度中に、学術交流に関する大学間協定2校（ベトナム・ハノイ建築大学、タイ・シリパコーン大学）、学生交流に関する大学間協定3校（韓国・誠信女子大学、台湾・淡江大学、オランダ・ライデン大学人文学部）と新規締結するなど、協定校開拓を着実に進めている。なお、ハノイ建築大学については、建築デザイン学部が交流の主体となる協定である。	-

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	日本女子大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とそに対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>確認の対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	確認の対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
確認の対象に該当しない	☐ チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の特組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80％を満たす計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5％を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	日本女子大学
-------------	-------	-----	--------

⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。		
	計画通りに進んでいる	■ チェック	
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文科科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。		
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	■ チェック	
⑭	文科科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。		
	認定を受けておらず申請する意向もない	■ チェック	

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェック
- a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☐ チェック
- b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☒ チェック
- c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業等と連携した特長的なPBL科目として、専門科目3年次配当「建築と社会」がある。①NPO等（卒業生のライフワ環境教育NPO、施設設計の専門家が連携）とエチオピアの女性の就業支援課題解決、②自治体等（神栖市役所、住民、設計・施工者、研究者が連携）と茨城県神栖市のかみず防災アリーナの課題解決等の取組を、基礎となる家政学部住居学科科学科において既に実施しており、新学部でもPBL実習を実施し、内容のさらなる深化を図る。なお、本科目は社会連携・地域貢献の側面も持ち合わせており、学生、連携先双方でwin-winの取組である。海外大学とは、台湾・逢甲大学建築専門学院との交換留学プログラム「Open Loop Program」や台湾・淡江大学等との「国際ハウジングワークショップ」（「建築総合演習」として単位認定）等、連携プログラムの実績があり、新学部も継続・発展させて国際交流の取組を進める。	計画どおり学科専門科目3年次配当科目として発展科目群に「建築と社会」を配置し、届出を完了している。建築デザイン学部では3年次配当科目であるため、次年度が最初の開講年度となるが、基礎となる家政学部住居学科では、引き続き今年度も開講しており、次年度の建築デザイン学部における開講につなげる。	-

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☒ チェック
- a.入学者選抜における科目の見直し
- ☒ チェック
- b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☐ チェック
- c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☐ チェック
- d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（カレント・リスキングへの対応）
- ☒ チェック
- e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
・⑭で記載したジェンダー学生(女性)の受け入れは、女子大学として、多様な入学者受け入れの特徴的な取り組みであると考えている。 ・入学者選抜においては、基礎となる学部学科から新学部に移組するにあたり、2025（令和7）年度入試から大学入学共通テスト（5科目型）を新規導入することとし、志願者の選択の幅を広げた。 ・女子大学に対する逆風の風潮がある中、本学は継続的な改革を推進しており、学部改組を積極的に進めている。令和5年度は国際文化学部、令和6年度は本学部（建築デザイン学部）を設置し、続く令和7年度には食料学部（仮称）の設置を構想しており、その後も継続的に学部改組を機とした教育改革を進め、優秀かつ多様な女子学生の獲得・輩出を進める。 ・海外協定校開拓を推進しており、交換留学生をはじめ、留学生の受入強化をさらに進める(令和6年度新規:タイ・シラコーン大学)。	・ジェンダー学生（女性）の受け入れについて、募集要項及び大学Webサイト等で明示・公表し、積極的な取組を進めている。 ・計画通り、2025（令和7）年度入試において「大学入学共通テスト（5科目型）」を募集人員3名で新規導入し、志願者数39名、合格者数18名を得た。 ・2025（令和7）年4月16日に、2026（令和8）年度予定の文学部2学科・文学研究科2専攻の名称変更届出を完了した。さらに2027（令和9）年度に「経済学部（仮称）」の設置を予定し、公表（2024年8月1日プレスリリース、2025年3月19日Webサイト公開）した。 ・2024（令和6）年度、建築デザイン学部を中心とした協定として、新たにイタリア・ミラノ工科大学、米国・シラキューズ大学建築学部、ベルギー・ブリュッセル自由大学と各種協定を締結した。今後、これらの大学と連携した交換留学やワークショップの実施などに向けた環境整備を着実に実施する予定。	-

大学名	日本女子大学
-----	--------

1. 本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

大学名	日本女子大学
-----	--------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	日本女子大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,498	1,498	1,498																
		入学者数	人	1,500	1,555	1,526																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,498	1,498	1,498																
		入学者数(B)	人	1,500	1,555	1,526																
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.00	1.04	1.02																
	収容定員等	収容定員(C)	人	5,992	5,992	5,992																
		編入学定員	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	6,197	6,214	6,194																
		編入学者数	人	***	***	***																
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.03	1.04	1.03																

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			選定－5年	選定－4年	選定－3年	選定－2年	選定－1年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		179,161	258,982	238,210	122,974	157,352	175,559	279,372												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	191,574
本事業による助成金の額(F)	千円	39,620
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	192,565

特記事項